

平成29年度事業計画

1 法人として計画すること

- ① 税理士のチェックによる、経理の適正化を行い、理事会、評議員会の定期開催により明朗な運営を行う。
- ② グループホーム建設を行う。(年度末までに移転)

2 通常の事業の計画

① 就労継続 B 型

シーモック

ア) 調理室

プチ・シーモックとの菓子製造の連携を図り、製造個数の増加を目指していく。利用者個々のスキルアップも引き続き支援していく。

イ) 袋室

一人一人の作業種の幅を広げ、効率、確実性を高めていく。また、販売や納品を通じて地域との繋がりを深めていく。

ウ) 2 グループ

作業の中心として行っているクッキー詰めとポスティング、食品乾燥機を使用していちじくの乾燥、袋詰めを継続して行っていく。新しくリサイクル作業を行っていく予定。その他の作業活動も考えていく。

プチ・シーモック

平成28年11月に、新しく店舗部分のある作業所を開所した。現在5名の利用者が活動している。今後は増員を視野に入れ、個々に見合った支援を行っていく。また、地域の方々に周知して頂き、店舗での販売を通じて繋がりを作っていく。

② 生活介護

活動内容は散歩、体操、作業（リサイクル活動）、ちぎり絵などの制作活動を行う。今年度も引き続き、リサイクル活動で得た業者買い上げ金、市の助成金をもとにお楽しみ会を行う。1日外出は利用者のペースに合わせた内容で行い、生活介護ならではの細やかな支援を行う。

③ ホームどんぐり

平成29年度も引き続き5名定員のうち4名の入居者、空いている1部屋を体験利用のための場として希望に応じて受け入れを行う。

年度末に移転を計画しているが、利用者に落ち着いた生活を提供するように安全管理や健康管理を綿密に行いながら、きめ細やかな支援を行っていく。利用者の状況に応じて家族との連絡を綿密に行う。

④ 相談支援

今年度も引き続き、サービス等利用計画書の作成、モニタリング（利用者状況の把握・計画の見直し）を行う。一人一人のニーズに対し適切なサービスが受けられるよう、情報提供を行う。

⑤ 日中一時支援

月に2回、土曜日に余暇活動を行う。（年間計画書による）

その他に、緊急的な要請などにより、日常的な活動と一体的に受け入れを行う。